

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

団体名：ミナトブンカサイ実行委員会

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。 (評価理由)：目的は概ね達成したが、台風のために予定を変更せざるをえない点があった。	2
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。 (評価理由)：市との協働により、関係各方面への信頼性が上がり、周知も進んだ。	1
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。 (評価理由)：大学を中心とした市民活動団体ならではのフレキシブルな活動と企画ができた。	1
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。 (評価理由)：台風および雨天のために、客船入港中止、日程縮小、企画内容変更等、予定の変更を余儀なくされた。	2
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。 (評価理由)：イベント内容の変更等による修正はあったが、概ね適切であった。	2
	6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。 (評価理由)：今回連携した団体とのつながりをもとに、継続企画に着手している。	1

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

行政と協働として事業を行ったことが、屋外での実験的なイベントにあたり、関係機関との調整等に大きく寄与した。また、この関係構築を通して、非常に多くの団体・個人との連携関係を築くことができ、今後の「関係者プラットフォーム」づくりのきっかけを得られた。

協働して事業を行う上での課題

予算の執行開始時期が8月下旬以降であり、10月のイベントに向けての広報等に余裕がなかった。予算の使い方に関しては、計画の変更等に際しても柔軟性があり問題はなかった。

問3 平成31年度静岡市協働パイロット事業で実施した事業について、令和2年度以降も継続して事業を実施する予定はありますか。

- ① 現在実施している
- ② 今年度実施する予定である
- ③ 今年度は実施しないが、来年度以降実施する予定である
- ④ 実施する予定はない

問4 問3で①、②、③と回答した方にお聞きします。貴団体が実施している、又は予定している事業の内容について、簡潔にお書きください。

清水港日の出地区から次郎長商店街にかけてにおける、エリア・ブランディングを推進したい。2020年度は、これまでに深めてきた当地域のブランディング・エッセンスを、さらに地域で活用しやすくなるように、コンテンツの発展を図り、これを次郎長生誕200周年事業に併せて実施していきたいと考えている。しかしながら、COVID-19の状況により、従来型のイベントから方法を返還させることも視野に入れている。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・提出先 静岡市 市民局 市民自治推進課 担当：青山
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
TEL：054-221-1372 FAX：054-221-1538
メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 海洋文化都市推進本部

調査目的

本調査は、平成 31 年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問 1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価… 1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	1
	(評価理由)：日の出地区のエリアブランディングに向けた取組みを評価		/
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
	(評価理由)：行政・民間と異なる立場での取組みで、協働としての効果が高い		/
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	1
	(評価理由)：大学やまちづくり会社による創造性の高い事業であると評価		/
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	1
	(評価理由)：エリアブランディングを高い水準で実施したものと評価		/
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	1
	(評価理由)：事業により得られる収入を含め、適正な見積りとなっていた		/
	6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	1
	(評価理由)：地区の官民関係者と関係を構築しており、発展の可能性が見込める		/

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

- ・官民学を含めた非常に多くの団体と連携して事業を実施し関係を築いた
- ・お茶や次郎長といった清水港の持つ資源を用いたエリアブランディングのきっかけを作った

協働して事業を行う上での課題

- ・事業関係者間での役割分担を明確化することで、事業が定着するものと考えられる

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山（内線：81-2283）